

重要文化財(建造物)の指定について

国の文化審議会(会長:^{さとう まこと}佐藤 信)は、令和5年6月23日(金)に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、1件の建造物を国宝に、8件の建造物を重要文化財に指定し、3件の建造物を重要文化財に追加指定することを文部科学大臣に答申する予定です。この結果、官報告示を経て、国宝・重要文化財(建造物)は2,565件、5,406棟(うち国宝231件、295棟を含む)となる予定です。

この中で福岡県に関連するものは重要文化財(建造物)2件で、福岡県における重要文化財(建造物)の総数は45件となる予定です。

[答申予定の重要文化財(建造物)]

^{さくらいじんじや}櫻井神社 3棟(福岡県糸島市志摩桜井4227)
^{たかすじんじやほんでん}高祖神社本殿 1棟(福岡県糸島市高祖1240)

報道解禁 (予定、文化審議会終了後)

令和5年6月23日(金) 17:00 解禁

<福岡県問い合わせ先>

福岡県教育庁教育総務部文化財保護課(担当:松本将一郎) Tel 092-643-3875(直通)

<現地取材問い合わせ先>

糸島市地域振興部文化課(担当:河合修) Tel 092-332-2093(直通)

報道関係者向け現地説明会を以下日程で開催予定です。事前申込不要。

令和5年6月20日(火)

9:30~10:30 高祖神社 11:00~12:00 櫻井神社

重要文化財(建造物)指定一覧表 (文化庁報道発表資料参照)

名称	所在地	員数	特徴と評価	指定基準
さくらいじんじや 櫻井神社	福岡県 糸島市 志摩桜井 4227	ほんでん つけたり むなふだ 本殿1棟 附・棟札7枚 はいでん 拝殿1棟 ろうもん 楼門1棟 附・絵図1枚	櫻井神社は、玄界灘に突き出た糸島半島に位置する。古墳の上に覆屋を架け岩戸宮と称し、前方に本殿、拝殿、楼門を並べる独特の構成を持つ。創建から程なく整備された社頭景観をほぼそのままに残す希少な神社遺構として価値が高い。寛永9年(1632)建立の本殿は三間社として規模が大きく、組物や四手先の腰組などは江戸初期の整った意匠を持ち、組物や鬘彫刻等を極彩色で豊かに飾る。拝殿も平面や開放的な建具の扱いに地域色をみせ、質実なつくりの楼門とともに、福岡藩直営にかかる質の高い社殿群として評価できる。	(五)
たかすじんじやほんでん 高祖神社本殿	福岡県 糸島市 高祖 1240	本殿1棟 附・棟札6枚	高祖神社は、福岡県西端の糸島市と福岡市の境にある高祖山の西山腹に位置する。創建が平安時代前期に遡るとされる古社で、中世は高祖城を本拠とする原田氏、近世以降は福岡藩黒田氏の崇敬を受けた。本殿は天文10年(1541)の建立で、元龜3年(1572)、寛文2年(1662)に改修があったが、身舎軸部、装飾ともおおむね元龜までの姿をとどめている。現存する県下最古級の神社本殿であり、中世に遡る希少な神社本殿遺構として歴史的価値が高い。	(三)

<重要文化財の指定基準>

建築物、土木構造物及びその他工作物のうち、次の各号の一に該当し、かつ、各時代又は類型の典型となるもの

- (一) 意匠的に優秀なもの
- (二) 技術的に優秀なもの
- (三) 歴史的価値の高いもの
- (四) 学術的価値の高いもの
- (五) 流派的又は地方的特色において顕著なもの

[重要文化財（建造物）の説明]

さくらいじんじや
櫻井神社

員数

3棟

構造形式及び規模

ほんでん さんげんしやながれづくり ひわだぶき りょうつまめんきりよけつき
本殿 三間社流造、檜皮葺、両妻面霧除付

つかけり むなふだ
附・棟札7枚 寛永9年(1632)、元禄14年(1701)、享保4年(1719)、寛政11年(1799)、文政2年(1819)、嘉永元年(1848)、慶応2年(1866)

はいでん けたゆき はりま きりづまづくり どうばんぶき
拝殿 桁行三間、梁間三間、切妻造、銅板葺

ろうもん さんけんいつこ いりもやづくり どうばんぶき
楼門 三間一戸楼門、入母屋造、銅板葺

つかけり
附・絵図1枚

所在地

福岡県糸島市志摩桜井 4227

所有者

宗教法人櫻井神社

概要

櫻井神社は、玄界灘に突き出た糸島半島の相菌地区^{あいぞの}に位置する。慶長15年（1610）に豪雨によって古墳石室の扉が開いたとことを創建の契機とする。その後、福岡藩主第二代の黒田忠之^{くろただだゆき}が自ら参拝して境内、社殿を整備し、寛永9年（1632）に本殿が建立した。拝殿、楼門の建立も同時期の17世紀前期と推定される。祭神は神直日神、大直日神、八十枉津日神の三神で、相殿神に島岡大明神^{しまおかだいみょうじん}を祀る。社殿は古墳の上に覆屋^{おおいや}を架け岩戸宮^{いわとぐう}と称し、その前方に本殿、拝殿、楼門が軸線を揃えて建ち並ぶ¹⁾。

本殿は、三間社流造、檜皮葺で、両側面に霧除を設ける。四周に切目縁^{よてさき}を廻し四手先の腰組^{こしぐみ}で受け、龍の彫刻を施した脇障子^{わきしょうじ}を建て、跳高欄^{はねこうらん}を据える。軸部及び垂木^{たるき}は朱塗、組物^{くみもの}、蓑^{かえるまた}、股^{きばな}、木鼻^{うちのりなげし}や彫刻は極彩色、内法長押と頭貫^{すかしぼり}間は牡丹の透彫彫刻^{おおいや}を飾るなど、江戸初期らしい抑制のきいた彫刻彩色で社殿を華麗に荘厳する。

拝殿は、桁行三間、梁間三間、切妻造、銅板葺である。内部は一室、床は板敷で、天井を張らず、二重虹梁大瓶束^{にじゅうこうりょうたいへいづか}で虹梁間に板蓑股^{いたかえるまた}をおく重厚な架構である。平面は縦長の長方形で四周を開放とする。筑前地域にみられる大らかな意匠で地方色をよく示す。

楼門は、三間一戸楼門で、屋根は入母屋造、銅板葺である。小ぶりながら質実な造りの楼門である。

櫻井神社は古墳の上に覆屋を架け岩戸宮と称し、前方に本殿、拝殿、楼門を並べる独特の構成を持ち、創建から程なく整備された社頭景観をそのままに残す希少な神社建築として価値が高い。本殿は三間社としては規模が大きく、江戸時代初期の整った意匠をみせ、彫刻等を極彩色で豊かに飾る。拝殿も平面や開放的な建具の扱いに地域色をみせ、質実な造りの楼門と共に、福岡藩直営に係る江戸初期の質の高い社殿群として評価された。

1) 櫻井神社は、本殿が昭和52年4月9日に福岡県有形文化財（建造物）に指定され、拝殿と楼門が平成9年7月25日に追加指定された。

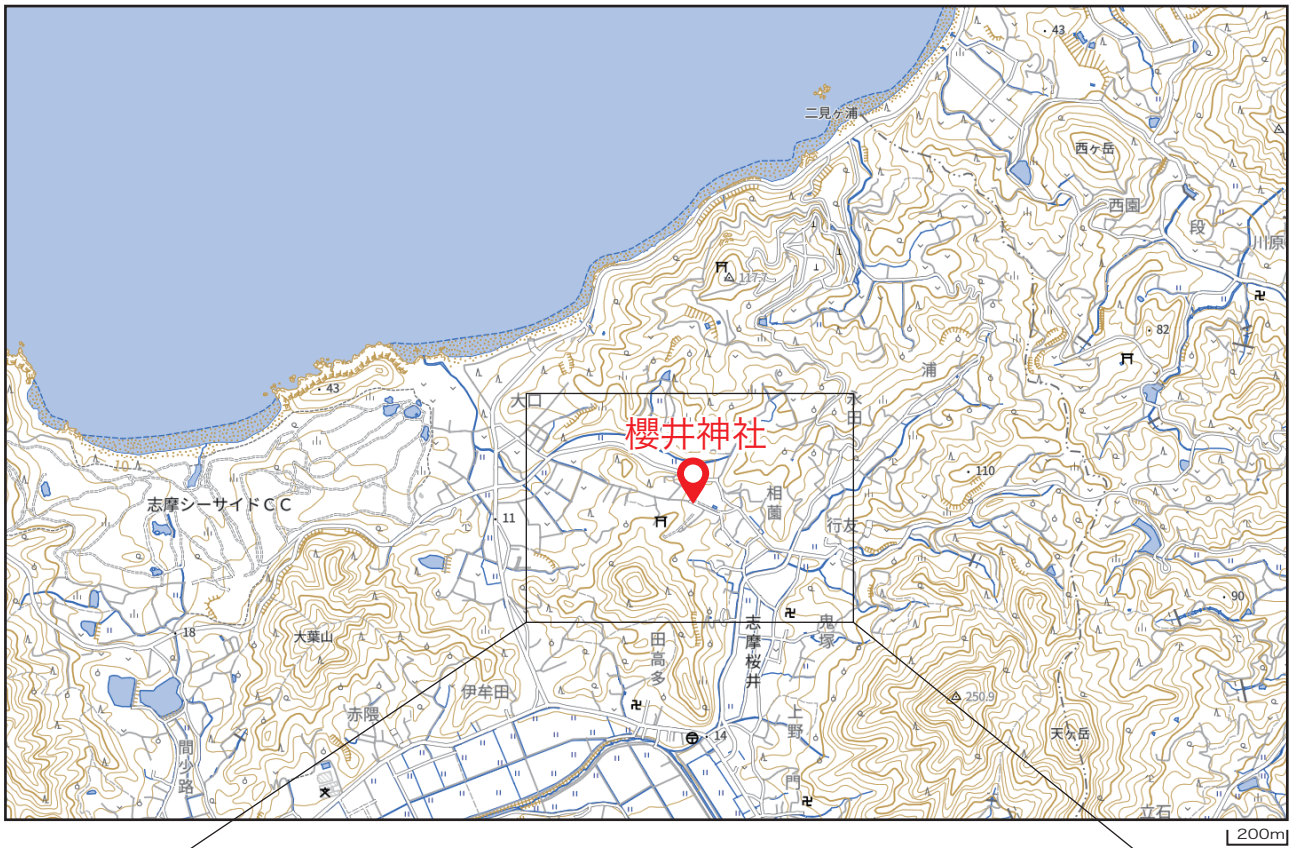


図1 櫻井神社位置図

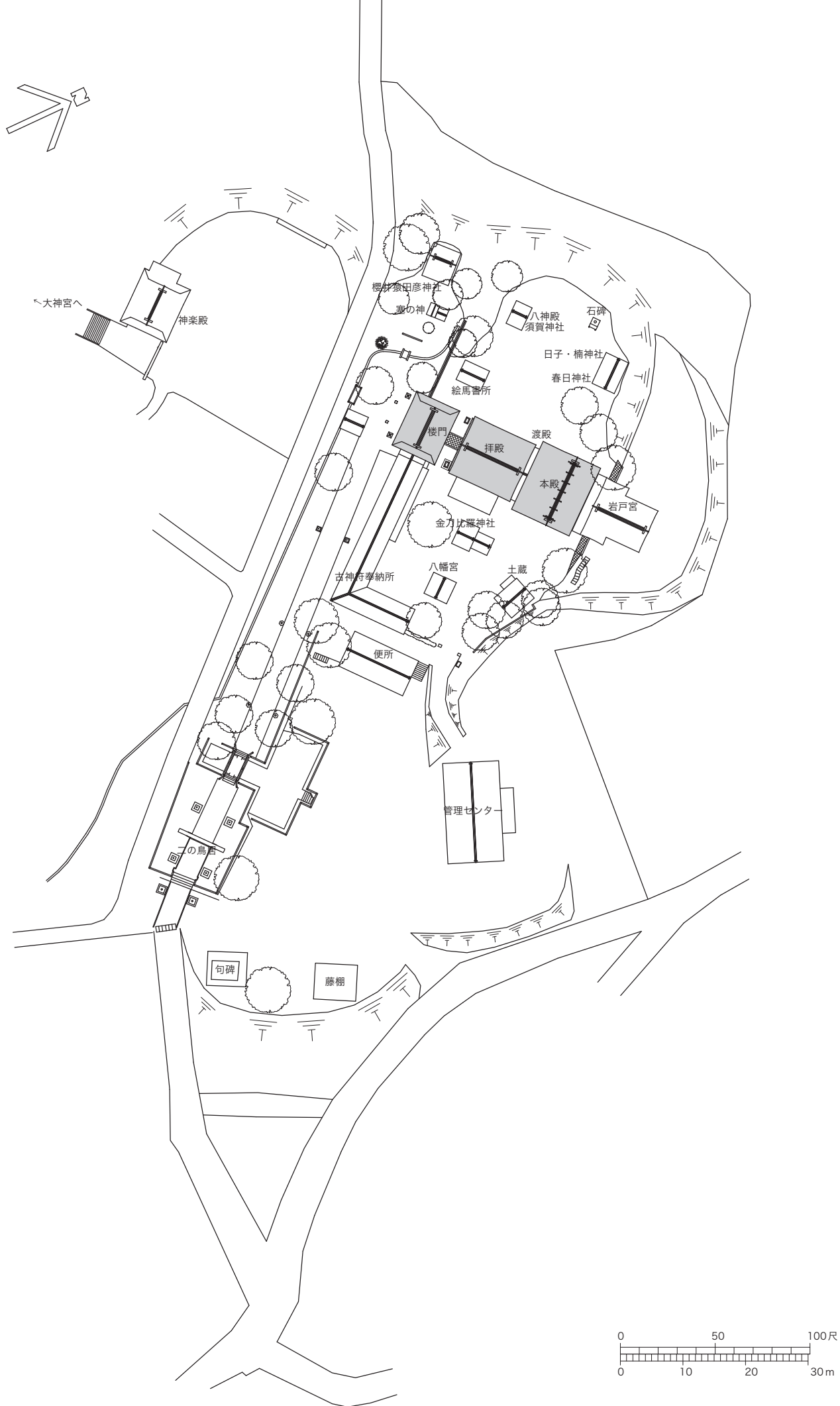


図2 櫻井神社配置図 (1/800)



写真1 櫻井神社空撮
糸島市提供



写真2 櫻井神社本殿・拝殿
糸島市提供



写真3 櫻井神社本殿正側面
糸島市提供



写真4 櫻井神社本殿背面
糸島市提供



写真5 櫻井神社本殿妻面
糸島市提供



写真6 櫻井神社本殿内部
糸島市提供



写真7 櫻井神社拝殿正面
糸島市提供



写真8 櫻井神社拝殿内部
糸島市提供



写真9 櫻井神社楼門正面
糸島市提供

[重要文化財(建造物)の説明]

たかすじんじゃほんでん 高祖神社本殿

員数

1棟

構造形式及び規模

ほんでん さんげんしやながれづくり ひわだぶき
本殿 三間社流造、檜皮葺

つけたり むなふだ
附・棟札6枚 天文 10 年(1541)、元龜3年(1572)、寛文 2 年(1662)、安永 6 年(1777)、文政 5 年(1822)、文久 3 年(1863)

所在地

福岡県糸島市高祖 1240

所有者

宗教法人高祖神社

概要

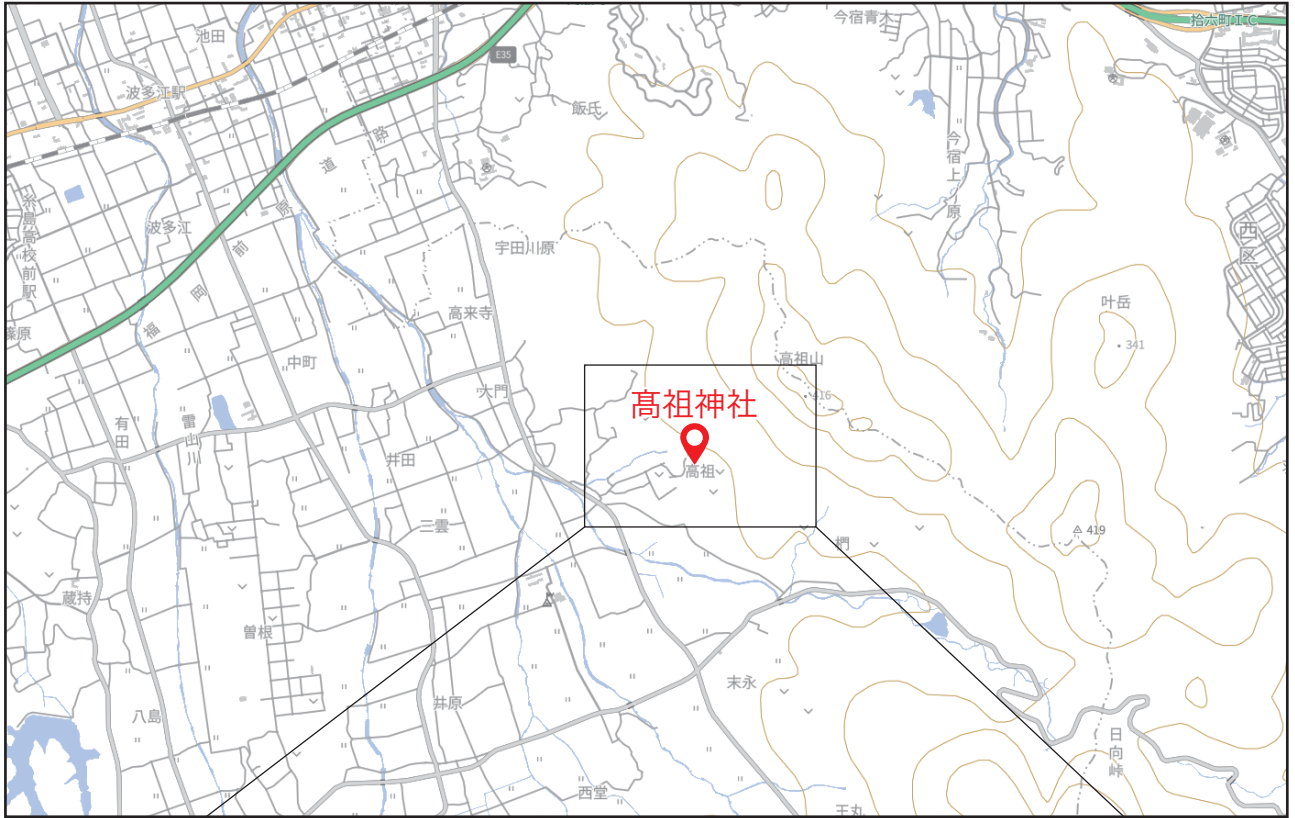
高祖神社は、糸島市と福岡市の境にある高祖山^{たかすやま}の西山腹に位置する。高祖山は、北に今津湾、西に糸島半島、西南に怡土平野^{いと}を望み、8世紀には古代山城の怡土城跡(国指定史跡)が築かれ、中世には高祖城が築城され南北朝時代から怡土郡一体を治めた原田氏の拠点となった。神社の創建は詳らかではないが、『三代実録』の元慶元年(877)九月二五日条にみえる「高磯比咩神」^{たかすひめのかみ}に比定され、怡土郡一宮として、中世は原田氏、近世は福岡藩黒田氏の崇敬を受けた。祭神は、彦火々出見尊^{ひこほほでのみこと}、玉依姫尊^{たまよりひめのみこと}、気長足姫尊^{おきながたらしひめのみこと}である。境内は、参道の石段を登ると鳥居、神楽殿があり、境内の最上段に本殿と拝殿が西面して建つ¹⁾。

近年行われた修理に伴う調査²⁾によって本殿の建立・改修年代が判明し、天文10年(1541)に原田隆種^{たかたね}によって建立され、元龜3年(1572)に原田親種^{ちかたね}によって妻飾^{つまかざり}や軒まわりが改修され、寛文2年(1662)に福岡藩主第三代の黒田光之^{くろだみつゆき}によって庇^{ひさし}と縁まわりが改修されて、現在の本殿の形式となった。

本殿は、三間社流造、檜皮葺で、三方に切目縁^{きりめえん}をまわし、脇障子^{わきしょうじ}を建てる。軒^{ふたのき}は二軒^{ふたのき}繁垂木^{しげだるき}、妻飾^{つまかざり}は二重虹梁大瓶束^{にじゅうこうりょうたいへいづか}である。棟は両端に鬼板^{おにいた}を据え、千木^{ちぎ}、堅魚木^{かつおぎ}を置く。庇^{ひさし}には浜縁^{はまえん}を付け、木階五級^{きざはしごきゅう}をすえる。内部は一室で、後方に壇^{いん}をおき、板扉^{いたひら}を建て内陣^{ないじん}とし御神体を祀る。

高祖神社は、平安時代前期に遡るとされる古社である。本殿は天文10年の建立で、元龜3年及び寛文2年に改修があったが、身舎軸部^{もやじくぶ}、装飾ともおおむね元龜頃までの姿をとどめている。現存する福岡県下最古級³⁾の神社本殿であり、中世に遡る希少な神社本殿として歴史的価値が高い。

- 1) 高祖神社は、平成24年3月26日に本殿と拝殿が福岡県指定有形文化財(建造物)に指定された。
- 2) 平成25年から平成29年にかけて、河上建築事務所の設計監理のもと、保存修理工事が実施された。(『福岡県有形文化財(建造物)高祖神社本殿保存修理工事報告書』(高祖神社、令和元年))
- 3) 現在確認できる県内最古の神社本殿は、長祿2年(1458)の建立とされる太宰府天満宮末社志賀社本殿(重要文化財)である。また、高祖神社本殿は、現在確認できる範囲で、流造本殿として県内最古である。



500m



100m

図1 高祖神社位置図



図2 高祖神社配置図 (1/3,000)



写真1 高祖山と高祖神社空撮
糸島市提供



写真2 高祖神社本殿正側面
糸島市提供



写真3 高祖神社本殿背側面
糸島市提供



写真4 高祖神社本殿側面
糸島市提供



写真5 高祖神社本殿庇まわり
糸島市提供



写真6 高祖神社本殿内部
糸島市提供

福岡県内の重要文化財(建造物)一覧

(2023年6月19日現在)

NO	名称	員数	所在の場所	所有者又は管理者又は 保護団体	指定年月日	追加指定
1	筥崎宮楼門	1棟	福岡市東区箱崎1-22-1 筥崎宮	(宗)筥崎宮	1902年4月17日	
2	筥崎宮本殿 附 棟札 11枚	1棟	福岡市東区箱崎1-22-1 筥崎宮	(宗)筥崎宮	1907年5月27日	昭和32年6月18日 (追加指定)
3	筥崎宮拜殿 附 棟札 1枚	1棟	福岡市東区箱崎1-22-1 筥崎宮	(宗)筥崎宮	1907年5月27日	昭和32年6月18日 (追加指定)
4	風浪神社本殿	1棟	大川市大字酒見字宮内726-1 風浪宮	(宗)風浪宮	1907年5月27日	
5	宗像神社辺津宮本殿 附 棟札 9枚	1棟	宗像市田島2331 宗像大社	(宗)宗像大社	1907年5月27日	昭和42年6月15日 (追加指定)
6	宗像神社辺津宮拜殿 附 棟札 1枚	1棟	宗像市田島2331 宗像大社	(宗)宗像大社	1907年5月27日	昭和42年6月15日 (追加指定)
7	太宰府天満宮末社志賀社本殿	1棟	太宰府市宰府4-7-1 太宰府天満宮	(宗)太宰府天満宮	1907年5月27日	
8	太宰府天満宮本殿 附 棟札 9枚、板札 2枚	1棟	太宰府市宰府4-7-1 太宰府天満宮	(宗)太宰府天満宮	1907年5月27日	昭和41年6月11日 (追加指定)
9	英彦山神社奉幣殿 附 棟札 14枚	1棟	田川郡添田町大字英彦山1 英彦山神宮	(宗)英彦山神宮	1907年5月27日	昭和29年9月17日 (追加指定)
10	風浪神社五重塔	1基	大川市大字酒見字宮内726-1 風浪宮	(宗)風浪宮	1910年8月29日	
11	普門院本堂	1棟	朝倉市杷木志波5376 普門院	(宗)普門院	1913年4月14日	
12	香椎宮本殿 附 棟札 8枚	1棟	福岡市東区香椎4-16-1 香椎宮	(宗)香椎宮	1922年4月13日	昭和41年6月11日 (追加指定)
13	住吉神社本殿	1棟	福岡市博多区住吉3-1-51 住吉神社	(宗)住吉神社	1922年4月13日	
14	多宝千仏石幢	1基	太宰府市石坂4-7-2 九州国立博物館	(独)九州国立博物館	1935年5月13日	
15	英彦山神社銅鳥居	1基	田川郡添田町大字英彦山1 英彦山神宮	(宗)英彦山神宮	1939年10月25日	
16	七重塔	1基	太宰府市朱雀2-5	太宰府市	1954年3月20日	
17	筥崎宮鳥居	1基	福岡市東区箱崎1-22-1 筥崎宮	(宗)筥崎宮	1955年6月22日	
18	旧日本生命保険株式会社九州支店 附 便所 1棟、塀 1棟、棟札 1枚	1棟	福岡市中央区天神1-15-30	福岡市	1969年3月12日	
19	早鐘眼鏡橋 附 旧水路	1基	大牟田市早鐘町128	大牟田市	1970年6月17日	
20	平川家住宅 主屋 納屋	2棟	うきは市浮羽町田籠	個人	1971年6月22日	
21	福岡城南丸多聞櫓	1棟	福岡市中央区城内	福岡市	1971年12月28日	
22	旧松本家住宅 洋館 附 棟札 1枚 日本館 附 東渡廊下 1棟、棟札 2枚 壹號蔵 附 棟札 1枚 貳號蔵 附 棟札 1枚	4棟	北九州市戸畑区一枝1-4-33	(社)西日本工業倶楽部	1972年5月15日	昭和57年2月16日 (追加指定)
23	高良大社 本殿・幣殿・拜殿 附 棟札 3枚、明暦式年高良山御堂御作事目録 1冊 大鳥居	1棟 1基	久留米市御井町1 高良大社	(宗)高良大社	1972年5月15日	
24	松延家住宅 土間部 座敷部 附 絵図 1枚	2棟	八女市立花町兼松	個人	1977年1月28日	
25	横大路家住宅	1棟	糟屋郡新宮町大字上府	個人	1977年1月28日	
26	中島家住宅 主屋 醤油蔵 酒蔵 附 中門 1棟、塀 2棟	3棟	田川郡添田町大字添田 1860	添田町	1977年1月28日	
27	永沼家住宅 附 家建諸扣帳 1冊	1棟	京都府みやこ町犀川帆柱	個人	1977年1月28日	
28	旧数山家住宅	1棟	田川郡添田町大字津野1788	添田町	1978年1月21日	

NO	名称	員数	所在の場所	所有者又は管理者又は 保護団体	指定年月日	追加指定
29	旧福岡県公会堂貴賓館	1棟	福岡市中央区西中洲6-29	福岡県	1984年5月21日	
30	門司港駅(旧門司駅)本屋 附 連絡上家 1棟	1棟	北九州市門司区西海岸1-5-31	九州旅客鉄道(株)	1988年12月19日	
31	善導寺 本堂 附 棟札 3枚、木牌 1基 大門 大庫裏 金屋 広間 附 表玄関門及び土塀 書院 役寮及び対面所 中蔵	8棟	久留米市善導寺町飯田550 善導寺	(宗)善導寺	1988年12月19日	平成6年12月27日 (追加指定)
32	岩屋神社 本殿 附 棟札 4枚、棟札箱 1口 境内社熊野神社本殿 附 棟札 1枚	2棟	朝倉郡東峰村大字宝珠山 岩屋神社	(宗)岩屋神社	1988年12月19日	
33	旧門司三井倶楽部 本館 附 幣串 1本 附属屋 附 倉庫 1棟	2棟	北九州市門司区港町7-1	北九州市	1990年3月19日	
34	三井石炭鉱業株式会社 三池炭鉱宮原坑施設 第二坑巻揚機室 第二竖坑槽	1棟 1基	大牟田市宮原町1-86-3	大牟田市	1998年5月1日	
35	旧吉原家住宅 附 御成門 1棟	1棟	大川市大字小保字中ノ船津136-17	大川市	1999年12月1日	
36	旧筑後川橋梁(筑後川昇開橋)	1基	大川市大字向島地先、 佐賀県佐賀市諸富町大字為重地先	大川市、佐賀県佐賀市	2003年5月30日	
37	南河内橋 附 図面 10枚	1基	北九州市八幡東区河内3丁目	北九州市	2006年12月19日	
38	旧志免鉱業所竖坑槽	1基	糟屋郡志免町大字志免495-3	志免町	2009年12月8日	
39	今村天主堂 附 門柱 2所 煉瓦塀 5基	1棟	三井郡大刀洗町大字今707	(宗)カトリック福岡司教区	2015年7月8日	
40	有馬家霊屋 梅林院霊屋 附 五輪塔 3基、石燈籠 2基 春林院霊屋 附 五輪塔 4基、石燈籠 2基 春林院位牌廟 附 宮殿 1基、石燈籠 1基 長壽院位牌廟 附 宮殿 1基、石燈籠 2基、石塔 1基 瓊林院位牌廟 附 宮殿 1基、石燈籠 2基	5棟	久留米市京町209	(宗)梅林寺	2018年12月25日	
41	部埼灯台 灯台 1基 旧官舎 1棟 旧屋間潮流信号機 1基 附 旧日時計 1基 石垣 2基	1棟 2基	北九州市門司区大字白野江字部埼20-1	国(海上保安庁) 北九州市	2020年12月23日	
42	旧伊藤家住宅 主屋 1棟 表物置 1棟 道具蔵 1棟 骨董蔵 1棟 事務室 1棟 書生室 1棟 長屋門 1棟 附 ポンプ小屋 1棟 建築図面 1枚	7棟	飯塚市幸袋300番地	飯塚市	2020年12月23日	
43	若戸大橋	1基	北九州市戸畑区川代2丁目～ 若松区本町1丁目	北九州市	2022年2月9日	
44	櫻井神社 本殿 附 棟札 7枚 拝殿 楼門 附 絵図 1枚	3棟	福岡県糸島市志摩桜井4227	宗教法人櫻井神社	答申予定	
45	高祖神社本殿 附 棟札6枚	1棟	福岡県糸島市高祖1240	宗教法人高祖神社	答申予定	